

PRESS RELEASE

報道関係各位

2026年7月14日
株式会社メンバーズ

**【開催報告】国内外大手17社が
「AIとの共創で実現する内製組織」をテーマに登壇
～NTTドコモ、味の素、森ビル、みずほフィナンシャルグループ、日本ハム、
トヨタコネクティッド、Waymo, Googleが最新事例を紹介～**

DX現場のデジタル実装パートナーである株式会社メンバーズ(本社:東京都中央区、代表取締役社長:高野 明彦、東証プライム:2130、以下「メンバーズ」)は、2026年6月12日(金)に「DXリーダーズ・カンファレンス2026」を開催しました。

本カンファレンスでは、「AIとの共創で実現する内製組織」をテーマに、株式会社NTTドコモ、味の素株式会社、森ビル株式会社、株式会社みずほフィナンシャルグループ、日本ハム株式会社、トヨタコネクティッド株式会社、Waymo, Googleといった国内外の大手企業のDXリーダーが登壇しました。各セッションでは、AI活用やアジャイル開発、データ活用、CX(顧客体験)向上、内製組織構築などのリアルな事例が共有されました。



当日のセッション報告(一部)

「社内DXは社内向けの新規事業である」大企業特有の組織の壁を越え、自立型内製組織で成果を出すプロセスをNTTドコモが提示

- セッションタイトル
 - 大規模組織の社内DXにおける成果創出までの道のり～NTTドコモR&D内製組織の泥臭い実践～
- 登壇者
 - 株式会社NTTドコモ R&Dイノベーション本部 クロステック開発部 都市デザイン技術開発担当 担当部長 頭川 裕紀 氏
- 大規模組織における自立型内製組織の構築とDX推進のプロセスを紹介しました。頭川氏は「社内DXは社内向けの新規事業である」と語り、システムを押し付けるのではなく社内ユーザー

をお客さまと捉える姿勢や、「逆算ストーリー」、「トップダウン×ボトムアップの両面作戦」といった推進方法を提示し、開発完了後も改善し続ける重要性を解説しました。



(株式会社NTTドコモ 頭川 裕紀 氏)

プログラミング未経験でもAIを駆使し年間300時間削減。「少数のフルスタック人財による内製チーム」が実現するAI駆動開発と新規事業創出の在り方を味の素が解説

- セッションタイトル
 - 味の素の新規事業から学ぶ、デジタル人財開発とAI駆動開発を実現する内製組織
- 登壇者
 - 味の素株式会社 DX推進部 先進ITグループ マネージャー 高木 亮輔 氏
 - 株式会社メンバーズ 専務執行役員 兼 グループ執行役員 デジタルサービス開発本部 本部長 神尾 武志
- 各領域の専門家を集めた大規模組織では改善サイクルが回らないという経験から行き着いた「少数のフルスタック人財による内製チーム」について解説しました。プログラミング未経験のDX部員がAIを駆使して年間300時間の工数削減を達成した事例を紹介したほか、AIで個人の可能性を広げることで、志ある全員が新規事業に挑戦できる、AI時代の組織の在り方を語りました。



(味の素株式会社 高木 亮輔 氏)



(株式会社メンバーズ 神尾 武志)

「ビジネス理解の深さが求められる領域をコアとして内製化」リアルとデジタルを繋ぐプラットフォーム構築と、伴走から自走を目指す森ビルのDX戦略

- セッションタイトル

- 森ビルが挑む「DXを通じたヒルズライフの充実」と「コア領域の内製化」
- 登壇者
 - 森ビル株式会社 麻布台ヒルズ運営推進室 ウェルネス推進部 課長(兼)タウンマネジメント事業部 TMマーケティング・コミュニケーション部 ヒルズネットワーク推進グループ 課長 中嶋 俊幸 氏
 - 株式会社メンバーズ メンバーズデータアドベンチャーカンパニー 社長 庄島 学
- さまざまな施設の顧客IDやデータを統合する「ヒルズネットワーク」を構築し、ヒルズIDとヒルズアプリを軸にサービス品質を向上させた取り組みを紹介しました。データ分析においては「ビジネス理解が重要となる領域を優先的に内製化し、高度だがスポットで良い領域は外注しつつAIで代替する」という方針で、メンバーズの伴走を通じ、最初から全てを内製化するのではなく徐々に自走できる体制にしていると語りました。



(森ビル株式会社 中嶋 俊幸 氏)



(株式会社メンバーズ 庄島 学)

DXの本質は「ツールの話」から「変革の話」へ。人事出身のCDTOが明かす、巨大組織の外部依存から脱却し内製化を推進するチェンジマネジメントの極意【キーノートセッション】

- セッションタイトル
 - みずほFG人事出身CDTOが語る「DXの主導権奪還」のためのチェンジマネジメント
- 登壇者
 - 株式会社みずほフィナンシャルグループ 執行役常務 グループCDTO 上ノ山 信宏 氏
 - 株式会社メンバーズ 代表取締役社長 高野 明彦
- 冒頭、メンバーズの調査を基に「外部委託の課題と内製化のジレンマ」など大手企業のDX推進における現状を共有しました。これらを踏まえ、人事からCDTOに転じた上ノ山氏は、DXの本質は「ツールの話」から「変革の話」へ移っていると問題提起し、経営トップのコミットや権限移譲されたリーダーの重要性に加え、マインドロックを外すチェンジマネジメントの必要性を語りました。



(株式会社みずほフィナンシャルグループ 上ノ山 信宏 氏)



(株式会社メンバーズ 高野 明彦)

経験や現場知などの「非構造データ」をAIで構造化。暗黙知を競合優位性へ昇華するデータ戦略と、現場に深く入り込む「あたかも社員」の伴走価値を日本ハムが語る

- セッションタイトル
 - AI×データ活用の鍵は「非構造データ」にあり～日本ハムが生み出すAI時代の意思決定～
- 登壇者
 - 日本ハム株式会社 IT・DX推進部 リーダー 道菅 公大郎 氏
- 社内の暗黙知をAIで構造化し、意思決定を高度化する「コンテキストエンジニアリング」の戦略を解説しました。また、AIにビジネスの文脈を理解させる重要性を論じ、日報などの自動変換事例を紹介したほか、その開発プロセスにおいて、単なる外部委託ではなく、自社の現場に深く入り込む、メンバーズの「あたかも社員」のような伴走支援の重要性を語りました。



(日本ハム株式会社 道菅 公大郎 氏)

アウトカムは単なる削減数値ではなく「従業員や顧客の行動変容」。2年の試行錯誤から導いた、変化に適応するしなやかな内製組織とAX推進の進め方をトヨタコネクティッドが共有

- セッションタイトル
 - 変化し続けるAX推進組織の現在地～トヨタコネクティッドが挑む、AIで現場業務を変える"進め方"づくり～
- 登壇者
 - トヨタコネクティッド株式会社 BR AXデジタルトラスト推進部 AX統括室 AX統括G Executive AI Director 川村 将太 氏
- AX推進における全社展開の壁を乗り越え、現場業務を変えるための内製体制や開発手法の現在地を解説しました。川村氏は、AX推進のアウトカムを「従業員や顧客の態度・行動の変容」と定義し、社内リテラシーを底上げする「AXトレーニング」を紹介したほか、各社の構造やフェーズに合わせた歩き方と、外部変化に適応するしなやかな内製組織の重要性を語りました。



「機械のためではなく、人の理解と判断のためにつくる」Fitbitや自動運転の事例からWaymo, Googleのデザイナーが紐解く、人間中心のAI体験設計の原則【グローバル基調講演】

- セッションタイトル
 - Google・Waymoが語る：人に寄り添うAIを生む「可視化×UX思考」最前線
- 登壇者
 - Waymo, Google Design Lead Kent Eisenhuth(ケント・アイゼンハス) 氏
 - モデレーター：株式会社メンバーズ 執行役員 エグゼクティブ・サービスプロデューサー nu.Designカンパニー 社長 兼 株式会社アジケ 取締役 杉浦 英明
- AIが意思決定に関わる時代において、いかに「人が理解し行動できるデータ体験」を設計するかを、Fitbitなどの事例から解説しました。Google本社とWaymoの両組織でAI×情報設計の最前線を担うKent氏は「機械のためではなく、人の理解と判断のためにつくる」という一貫した設計思想を語りました。



(グローバル基調講演の様子)

詳細の開催レポートは、以下のページよりご覧いただけます。

- 【イベントレポート】DXリーダーズ・カンファレンス2026-AIとの共創で実現する内製組織
 - URL : <https://www.members.co.jp/column/20260714-dxconference-report>
- 【DXリーダーズ・カンファレンス2026開催レポート】AIとの共創で実現する内製組織
 - https://note.com/members_blog/n/n9500779ca4eb
※2026年9月24日：開催レポート(note)を追加しました。

参加者の声

- DXを進めるにあたり直面した課題とそれをどのように乗り越えたのか、実務者目線で共感、理解することができ、御知見を共有、ご教示頂きありがとうございました。
- DX推進のリーダー課題と課題解決に必要なことをここまで言語化できるというのが大きな強みとなっていると感じました。参考にさせていただき、社内現場の方の喜ぶ顔を想像しながら引き続きDX推進していきます。
- マインドやソフトスキル面の話もあり、ご経験をもとに具体的に言語化してくださっていたので、とても参考になりました。
- レイヤー分け、内製化のためのポイント整理が勉強になりました。

開催概要

名 称	DXリーダーズ・カンファレンス2026～AIとの共創で実現する内製組織～
日 時	2026年6月12日（金）12:40～19:50
主 催	株式会社メンバーズ
会 場	東京コンファレンスセンター・品川 〒108-0075 東京都港区港南 1-9-36アレア品川 3F-5F

- 関連プレスリリース・レポート
 - NTTドコモ、味の素、森ビル、みずほフィナンシャルグループ、日本ハム、トヨタコネクティッド、Waymo, Googleなどが登壇！メンバーズ「DXリーダーズ・カンファレンス2026」を6月12日開催（2026年5月27日）
 - <https://www.members.co.jp/company/news/2026/0527>
 - 写真で振り返るDXリーダーズ・カンファレンス2025イベントレポート
 - <https://www.members.co.jp/column/20250808-dxconference-report>

開催の背景

AIをはじめとしたデジタル技術の進化と民主化が加速し、企業において専門知識を問わず高度なDXを自社で推進できる環境が整いつつあります。これにより、外部パートナーへの依存から脱却し、自社主導でDXを加速させる内製化の動きが拡大しています。一方で、企業のDX内製推進では、専門人材の不足や最新技術への適応、組織・プロセスの持続性、現場浸透につながる制度設計の難しさといった課題が生じています。

メンバーズはこれまで、大手を中心とした1,000社を超える企業のDX推進やAI活用を支援してきました。専門スキルを備えたデジタル人材が、取引先企業のチームの一員として成果創出を支える「あたかも社員」となり、内製型のDX推進を支援しています。この度、蓄積してきた知見を活かし、AIとともに成果を創出し続けるDX内製推進のヒントを提供する場として、本カンファレンスを開催しました。

メンバーズについて

メンバーズは、ミッション「“MEMBERSHIP”で、心豊かな社会を創る」と、長期ビジョン「FUTURE VISION」として「Digital for Hope. デジタルクリエイターの創造性を解放し、気候変動をグリーン成長に、人口減少を一人ひとりの豊かさに変える」を掲げています。

このビジョンのもと、デジタル人材の伴走によるDX現場支援事業を展開。「顧客と共に社会変革をリードするデジタル実装パートナー」として、「あたかも社員®」のように現場へ入り込み、AIをはじめとする先進テクノロジーを用いて、社会課題を企業の成長機会へと転換することを目指しています。

具体的には、AI、サービスデザイン・UX、プロジェクトマネジメント、プロダクト・システム開発、データマネジメント、マーケティング、脱炭素・サーキュラーDXといった事業領域において、高い専門スキルを持つデジタル人材が取引先企業のチームの一員として、DX現場の実装・運用フェーズにおける内製型のDX推進を伴走支援し、組織の一員として成果向上を実現させます。1995年設立。東証プライム上場。

- 社名：株式会社メンバーズ
- 所在地：東京都中央区晴海1丁目8番10号 晴海アイランドトリトンスクエアオフィスタワーX 37階（受付35階）

- 代表者:代表取締役社長 高野 明彦
- 資本金:1,059百万円(2026年3月末時点)
- Webサイト:<https://www.members.co.jp/>
- SNS
 - Facebook:<https://www.facebook.com/Memberscorp>
 - X(旧Twitter):https://x.com/Members_corp
 - LinkedIn:<https://www.linkedin.com/company/members-co--ltd/>

本リリースに関するお問い合わせ
株式会社メンバーズ 広報担当:竹原、鈴木
mail: press@members.co.jp